【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成22年7月8日(2010.7.8)

【公開番号】特開2009-64071(P2009-64071A)
【公開日】平成21年3月26日(2009.3.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-012
【出願番号】特願2007-228905(P2007-228905)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｔ　1/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　5/117　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｔ　1/00　４００Ｇ
Ａ６１Ｂ　5/10　３２２

【手続補正書】
【提出日】平成22年5月24日(2010.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
透明基板と、
前記透明基板の一方の面に形成された有機ＥＬ素子と、
前記透明基板の他方の面に形成された複数の受光素子を有する撮像装置と、
を備え、
前記有機ＥＬ素子は前記透明基板に向けて光を放射し、
前記撮像装置は前記有機ＥＬ素子から放射される光を透過させることを特徴とする画像読取装置。
【請求項２】
前記複数の受光素子は、隣接する２つの受光素子間に所定の間隙が設けられるように配置され、
前記有機ＥＬ素子は、前記間隙と重なる領域の少なくとも一部が発光するように形成されていることを特徴とする請求項１に記載の画像読取装置。
【請求項３】
透明基板と、
前記透明基板の一方の面に形成された複数の受光素子を有する撮像装置と、
前記透明基板の他方の面に形成された複数の有機ＥＬ素子と、
を備え、
前記複数の受光素子は、隣接する２つの受光素子間に所定の間隙が設けられるように配置され、
前記有機ＥＬ素子は、前記間隙と重なる領域の少なくとも一部が発光するように形成されるとともに前記透明基板に向けて光を放射し、
前記撮像装置は、前記有機ＥＬ素子から放射される光のうち前記間隙に向けて放射される光を透過させることを特徴とする画像読取装置。
【請求項４】
前記複数の有機ＥＬ素子は、赤色に発光する有機ＥＬ素子と緑色に発光する有機ＥＬ素子と青色に発光する有機ＥＬ素子とからなることを特徴とする請求項３に記載の画像読取

装置。
【請求項５】
前記複数の受光素子のうちの少なくとも一部は所定の方向に配列され、
前記複数の有機ＥＬ素子は、前記所定の方向に沿って前記赤色に発光する有機ＥＬ素子と前記緑色に発光する有機ＥＬ素子と前記青色に発光する有機ＥＬ素子とが順に配置されていることを特徴とする請求項４に記載の画像読取装置。
【請求項６】
前記複数の有機ＥＬ素子は、前記所定の方向において２つの前記受光素子に対して１つの前記有機ＥＬ素子が対応するように配置されていることを特徴とする請求項５に記載の画像読取装置。
【請求項７】
透明基板の一方の面に有機ＥＬ素子を形成し、
次に、前記透明基板の他方の面に撮像装置を形成することを特徴とする画像読取装置の製造方法。
【請求項８】
透明基板の一方の面にトランジスタアレイを形成し、
次に、前記トランジスタアレイの表面に複数の有機ＥＬ素子をマトリクス状に形成し、
その後、前記透明基板の他方の面に撮像装置を形成することを特徴とする画像読取装置の製造方法。
【請求項９】
透明基板の一方の面に撮像装置を形成し、
次に、前記透明基板の他方の面に有機ＥＬ素子を形成することを特徴とする画像読取装置の製造方法。
【請求項１０】
透明基板の他方の面に撮像装置を形成し、
次に、前記透明基板の他方の面にトランジスタアレイを形成し、
その後、前記トランジスタアレイの表面に複数の有機ＥＬ素子をマトリクス状に形成することを特徴とする画像読取装置の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
以上の課題を解決するため、請求項１に記載の発明は、透明基板と、前記透明基板の一方の面に形成された有機ＥＬ素子と、前記透明基板の他方の面に形成された複数の受光素子を有する撮像装置と、を備え、前記有機ＥＬ素子は前記透明基板に向けて光を放射し、前記撮像装置は前記有機ＥＬ素子から放射される光を透過させることを特徴とする画像読取装置である。
請求項２に記載の発明は、請求項１に記載の画像読取装置であって、前記複数の受光素子は、隣接する２つの受光素子間に所定の間隙が設けられるように配置され、前記有機ＥＬ素子は、前記間隙と重なる領域の少なくとも一部が発光するように形成されていることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項３に記載発明は、透明基板と、前記透明基板の一方の面に形成された複数の受光

素子を有する撮像装置と、前記透明基板の他方の面に形成された複数の有機ＥＬ素子と、を備え、前記複数の受光素子は、隣接する２つの受光素子間に所定の間隙が設けられるように配置され、前記有機ＥＬ素子は、前記間隙と重なる領域の少なくとも一部が発光するように形成されるとともに前記透明基板に向けて光を放射し、前記撮像装置は、前記有機ＥＬ素子から放射される光のうち前記間隙に向けて放射される光を透過させることを特徴とする画像読取装置である。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項４に記載の発明は、請求項３に記載の画像読取装置であって、前記複数の有機ＥＬ素子は、赤色に発光する有機ＥＬ素子と緑色に発光する有機ＥＬ素子と青色に発光する有機ＥＬ素子とからなることを特徴とする。
請求項５に記載の発明は、請求項４に記載の画像読取装置であって、前記複数の受光素子のうちの少なくとも一部は所定の方向に配列され、前記複数の有機ＥＬ素子は、前記所定の方向に沿って前記赤色に発光する有機ＥＬ素子と前記緑色に発光する有機ＥＬ素子と前記青色に発光する有機ＥＬ素子とが順に配置されていることを特徴とする。
請求項６に記載の発明は、請求項５に記載の画像読取装置であって、前記複数の有機ＥＬ素子は、前記所定の方向において２つの前記受光素子に対して１つの前記有機ＥＬ素子が対応するように配置されていることを特徴とする。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項７に記載の発明は、画像読取装置の製造方法であって、透明基板の一方の面に有機ＥＬ素子を形成し、次に、前記透明基板の他方の面に撮像装置を形成することを特徴とする。

【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項８に記載の発明は、画像読取装置の製造方法であって、透明基板の一方の面にトランジスタアレイを形成し、次に、前記トランジスタアレイの表面に複数の有機ＥＬ素子をマトリクス状に形成し、その後、前記透明基板の他方の面に撮像装置を形成することを特徴とする。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項９に記載の発明は、画像読取装置の製造方法であって、透明基板の一方の面に撮像装置を形成し、次に、前記透明基板の他方の面に有機ＥＬ素子を形成することを特徴とする。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項１０に記載の発明は、画像読取装置の製造方法であって、透明基板の他方の面に撮像装置を形成し、次に、前記透明基板の他方の面にトランジスタアレイを形成し、その後、前記トランジスタアレイの表面に複数の有機ＥＬ素子をマトリクス状に形成することを特徴とする。